

令和4年8月15日から16日にかけての 大雨による出水の概要（速報版）

※本速報に記載されている数値や図表等は令和4年8月末時点の速報値であり、
今後変更となる可能性があります。

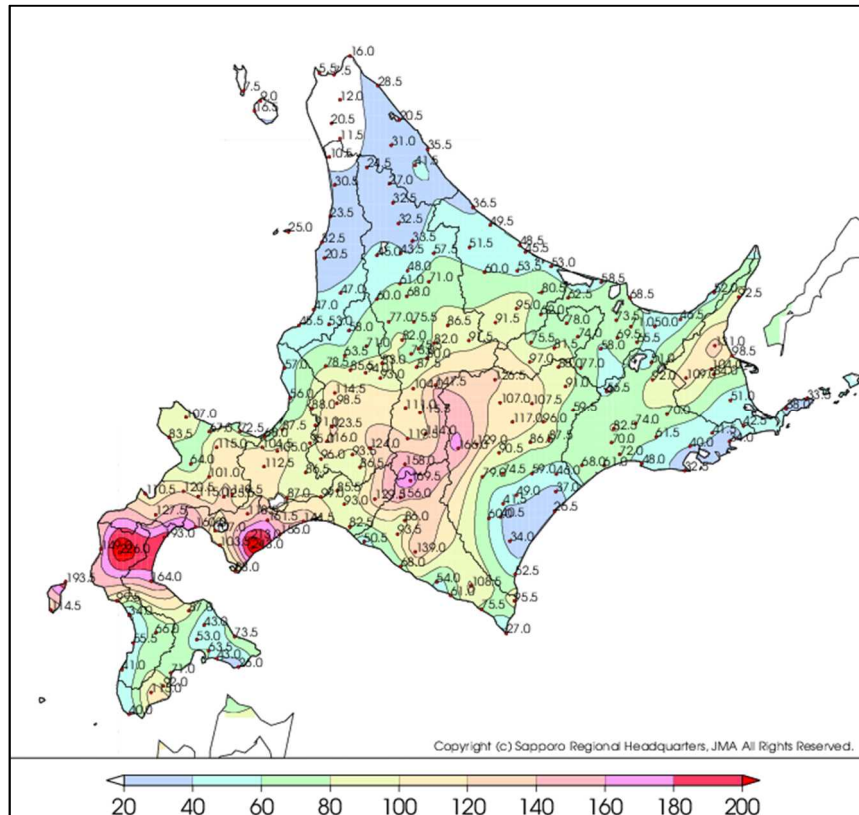
令和4年8月





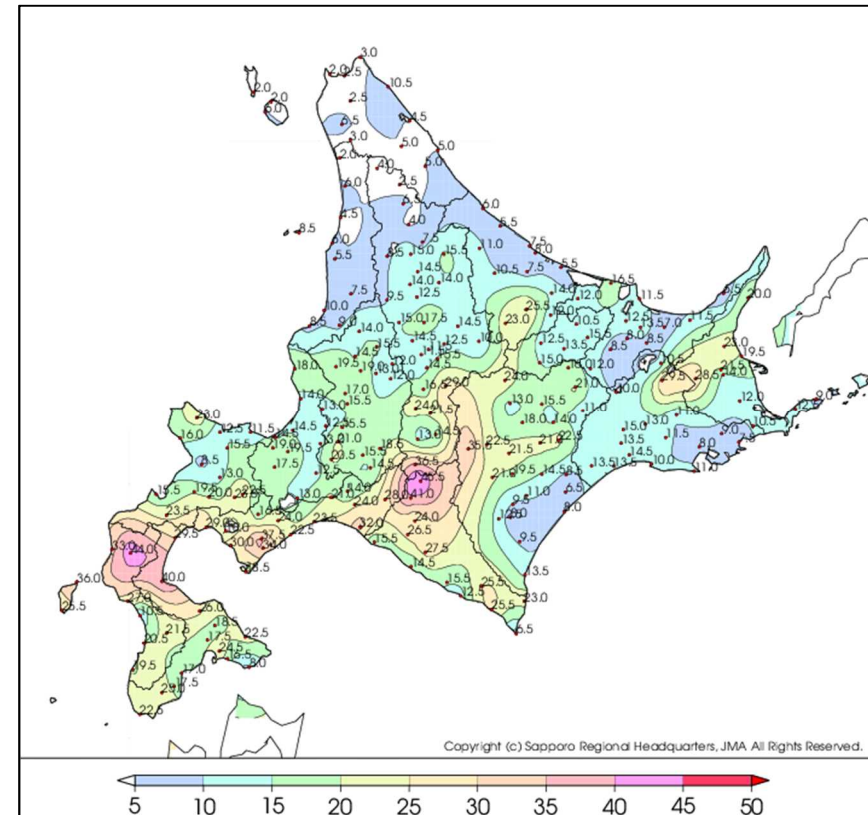
全道の降雨状況(アメダスによる実況)

総降水量 (8月15日6時～17日6時)



順位	地点名	読み	市町村等を まとめた地域	降水量合計 (mm)
1	今金	イマカネ	檜山北部	226.0
2	カルルス	カルルス	胆振中部	213.0
3	登別	ノボリハツ	胆振中部	213.0
4	奥尻	オクリ	檜山奥尻島	193.5
5	長万部	オシマンベ	渡島北部	193.0
6	日高	ヒダカ	日高西部	169.5
7	新得	シントク	十勝北部	166.0
8	八雲	ヤクモ	渡島北部	164.0
9	森野	モリノ	胆振中部	161.5
10	大岸	オオキサ	胆振西部	160.0

1時間降水量の最大値
(8月15日6時～17日6時)



順位	地点名	読み	市町村等を まとめた地域	最大1時間 降水量(mm)
1	日高	ヒダカ	日高西部	45.5
2	今金	イマカネ	檜山北部	44.0
3	仁世宇	ニセウ	日高西部	41.0
4	八雲	ヤクモ	渡島北部	40.0
5	カルルス	カルルス	胆振中部	37.5
6	占冠	シムカヅ	上川南部	36.5
7	奥尻	オクリ	檜山奥尻島	36.0
8	新得	シントク	十勝北部	35.5
9	登別	ノボリハツ	胆振中部	34.0
10	せたな	セタナ	檜山北部	33.0

※札幌管区气象台資料(令和4年8月23日 速報値<https://www.data.jma.go.jp/sapporo/bosai/past_kishou/pdf/KishoR040815_16.pdf>より)

※値は速報値のため、後日修正する可能性がある

■道内の国管理河川においては、今回の出水により、3水系3河川4観測所で避難判断水位を超過、8水系17河川33観測所で氾濫注意水位を超過（8月17日11:00時点とりまとめ）



■避難判断水位超過(レベル3相当)
3水系3河川4観測所

水系名	河川名	観測所名
後志利別川水系	後志利別川	「今金」
鵠川水系	鵠川	「穂別、鵠川」
石狩川水系	幾春別川	「藤松」

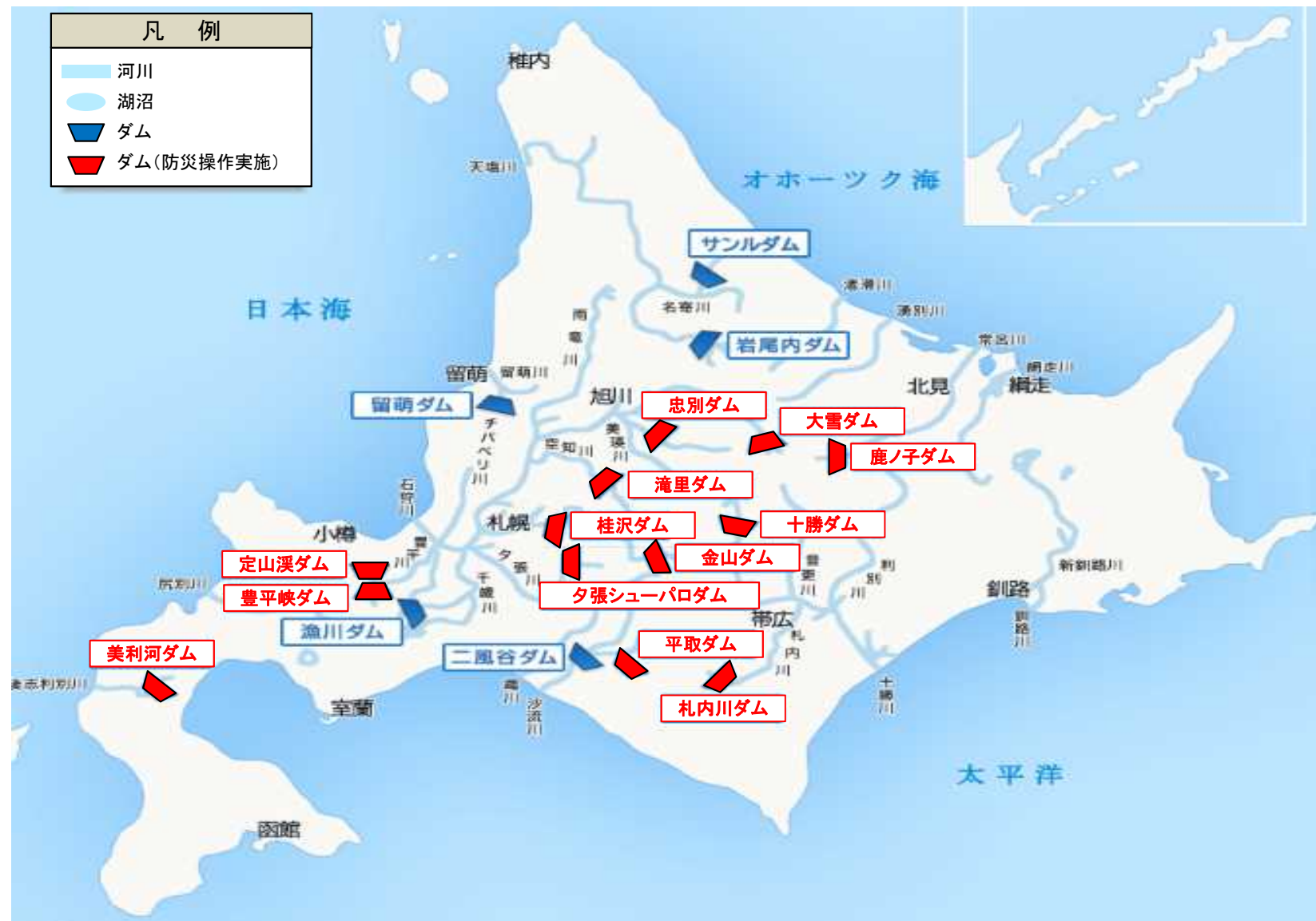
■ 氾濫注意水位超過(レベル2相当)
8水系17河川33観測所 ※上表の観測所を含む

水系名	河川名	観測所名
後志利別川水系	後志利別川	「今金、河口、大富」
鷗川水系	鷗川	「穂別、鷗川、栄」
沙流川水系	沙流川	「幌毛志橋、富川、平取」
石狩川水系	石狩川	「石狩、石狩河口」
	幾春別川	「藤松、西川向」
	月寒川	「月寒」
	空知川	「赤平」
尻別川水系	尻別川	「花石、昆布、名駒」
十勝川水系	十勝川	「芽室太、帯広、千代田、茂岩、大津」
	士幌川	「旭橋」
	十弗川	「東台1号橋」
	利別川	「利別」
	札内川	「札内」
釧路川水系	釧路川	「標茶」
	新釧路川	「鳥取」
	オソベツ川	「下オソベツ」
常呂川水系	常呂川	「忠志、上川沿、太茶苗」



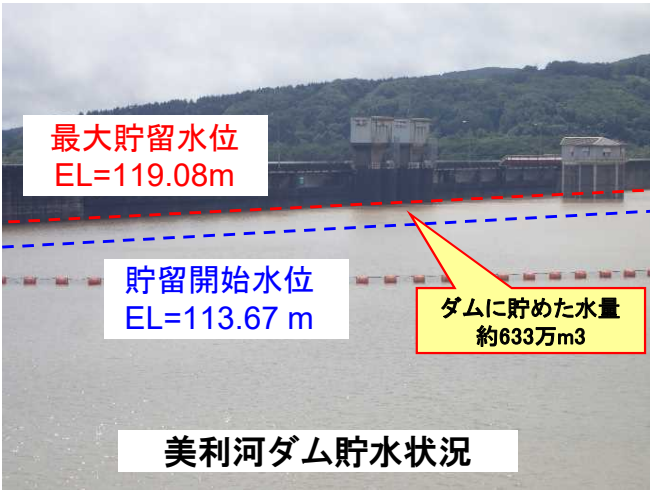
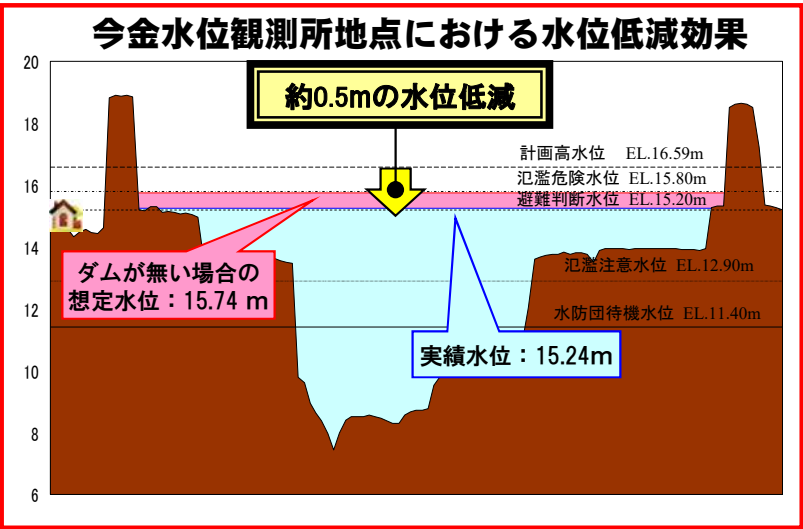
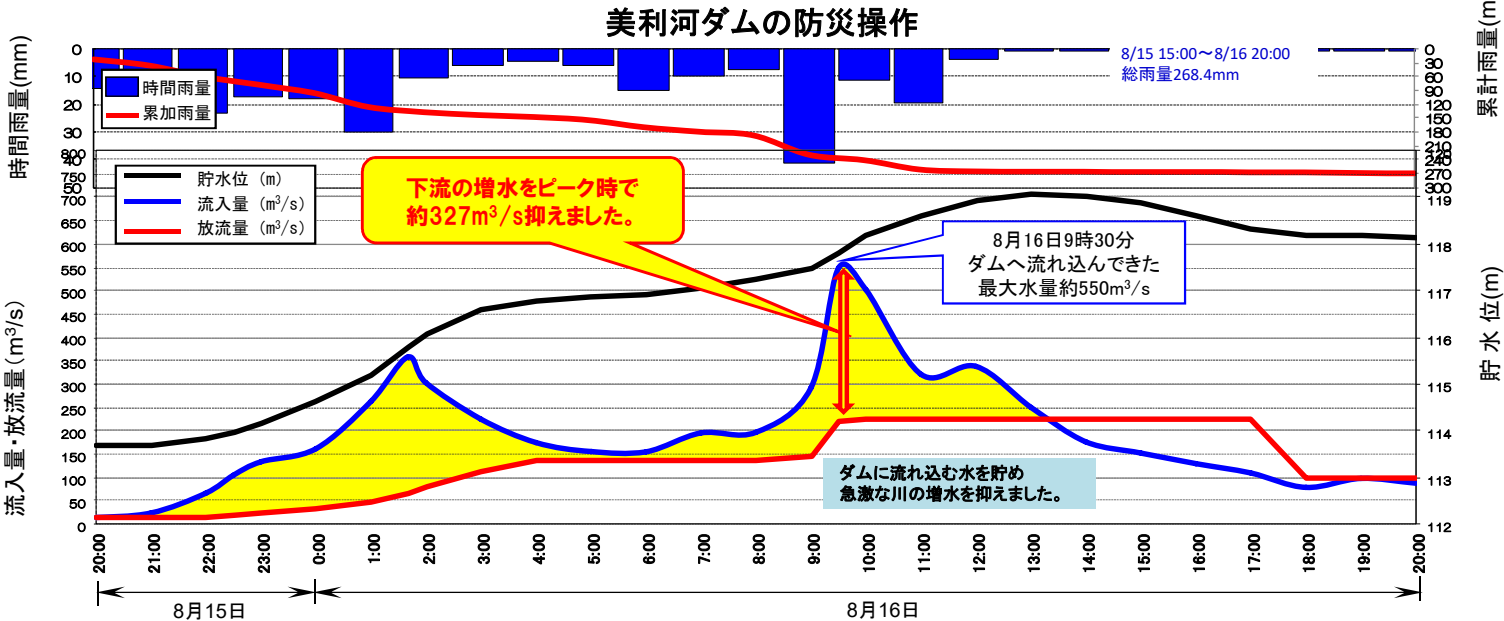
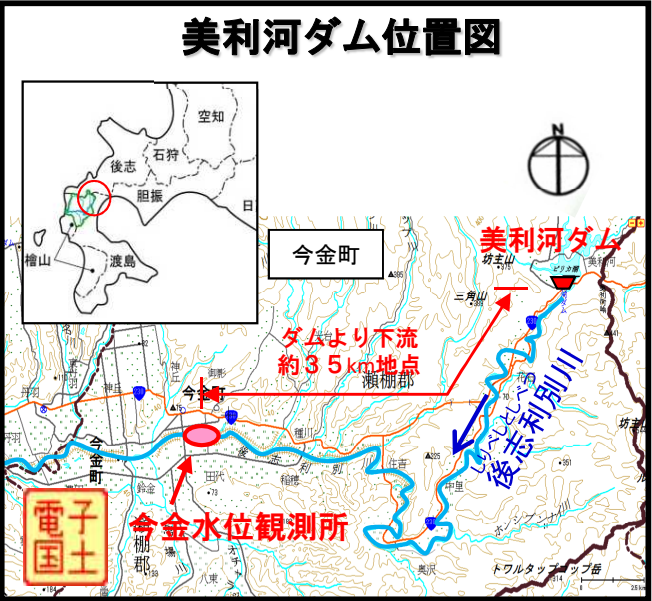
北海道開発局の管理ダムの防災操作状況

- 今回の出水において、北海道開発局が管理する18ダムの内、**13のダムで防災操作を実施**しました。
- 13ダムでの洪水調節量の総量は約1億1,425万m³となり、これは**札幌ドーム約72杯分をダムに貯留**したことになります。
- それぞれのダムでは、ダムへの貯留効果もあって、下流河川の水位低減に大きく寄与しました。



- 令和4年8月15日～16日、前線を伴った低気圧による大雨により、美利河ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 美利河ダムの防災操作によって、下流河川の水位低減を図り、下流の今金町(今金水位観測所)では、**水位を約0.5m低減させる効果**があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ**はん濫危険水位※**に迫る出水となっていたことが想定されます。

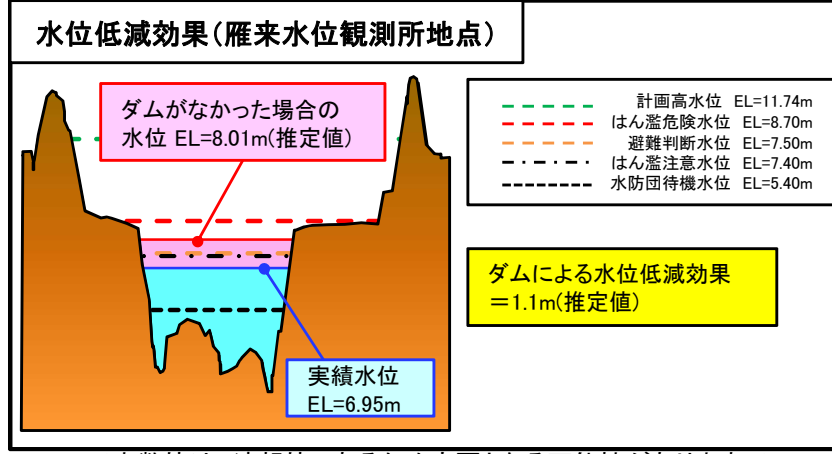
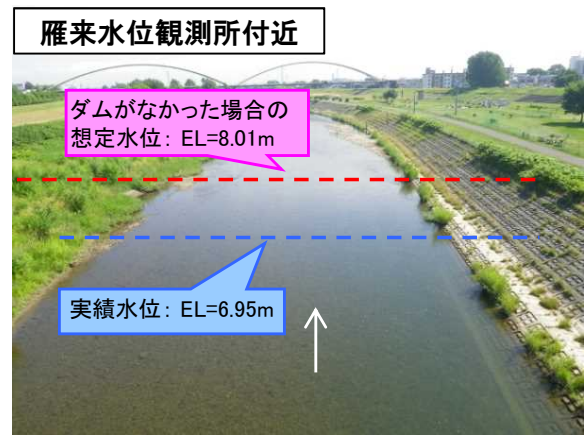
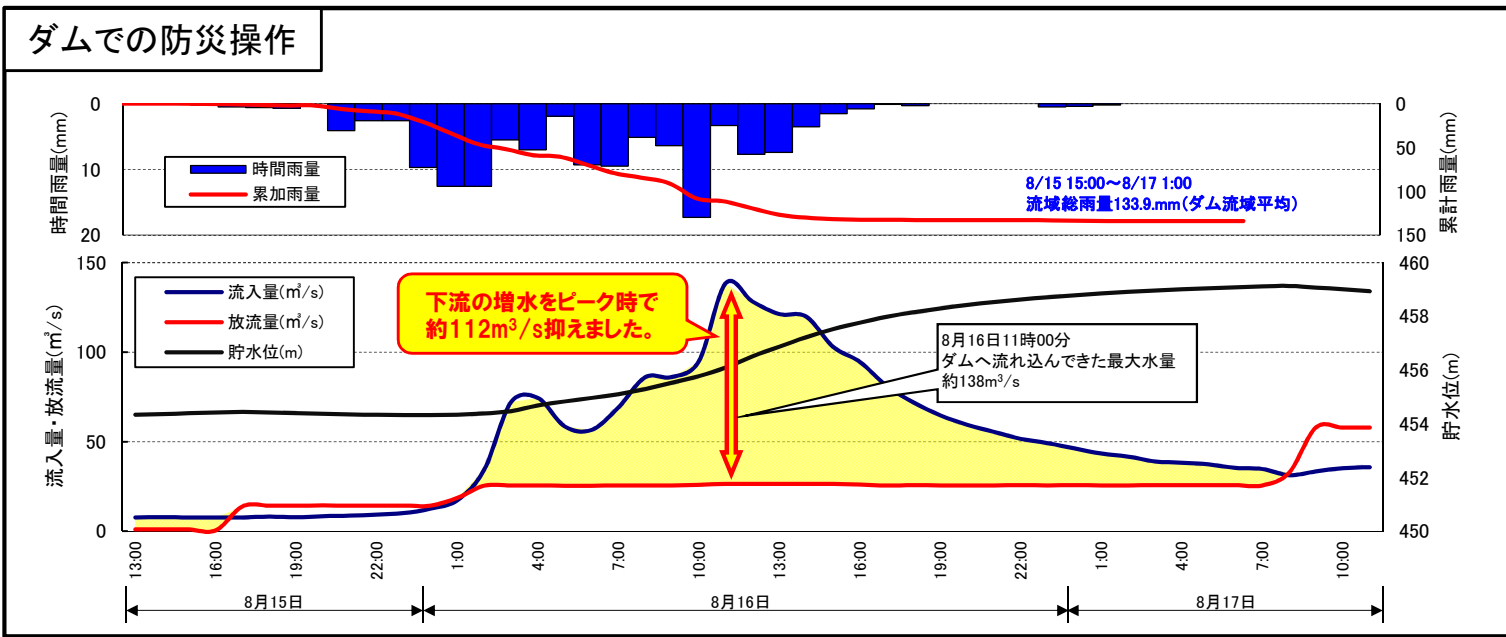
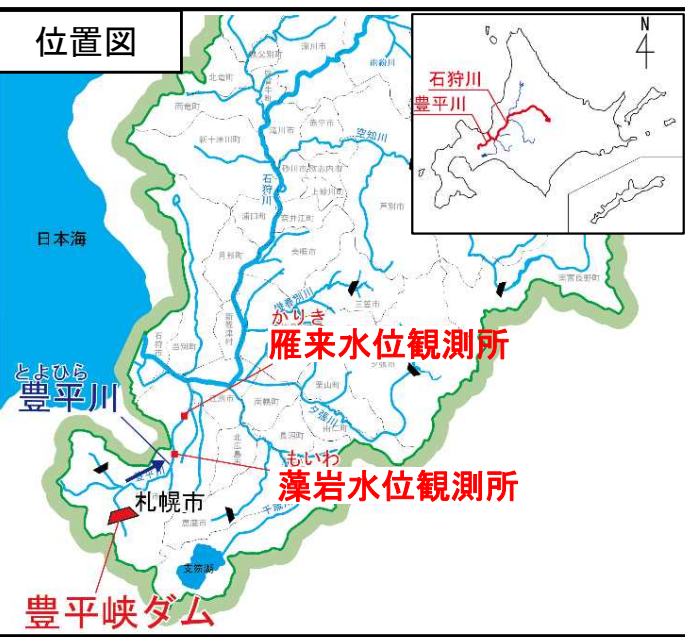
※はん濫危険水位：洪水により相当の家屋浸水等の被害を生ずる氾濫の起こるおそれがある水位。



※本資料の数値は速報値であるため、変更となる可能性があります。

○令和4年8月15日～16日の降雨により豊平峡ダムにおいては、**洪水量を超える流入量を観測**しました。
 ○豊平峡ダムの防災操作によって、下流河川の水位低減及び安定を図り、下流の札幌市(雁来水位観測所)において、**水位を約1.1m低減させる効果**があったものと推測されます。
 ○仮にダムが整備されていなければ、**避難判断水位※を上回る出水**となっていたことが想定されます。

※避難判断水位:市町村長の避難勧告等の発令判断の目安、住民の避難判断の参考となる水位。



<本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。>

ゆうばり

○令和4年8月15日～16日の降雨により、夕張シューパロダムにおいては、**既往第3位の流入量を観測**しました。

くりやま

まるやま

○夕張シューパロダムの防災操作によって下流河川の水位低減及び安定を図り、下流の栗山町(円山水位観測所)において**水位を約2.3m低減**させる**効果**があったものと推測されます。

○仮にダムが整備されていなければ、**はん濫危険水位※を上回る出水**となっていたことが想定されます。

※はん濫危険水位：洪水により相当の家屋浸水等の被害を生ずる氾濫の起こるおそれがある水位。

位置図

ダムでの防災操作

円山水位観測所付近

ダムがなかった場合の想定水位: 56.13m

実績水位: 53.85 m

夕張シューパロダム貯水状況

防災操作終了 EL=296.37m

防災操作開始 EL=295.07m

防災操作によってダムに貯めた水量 約1,673万m³

水位低減効果（円山水位観測所）

ダムがなかった場合の水位 H= 56.13m(推定値)

実績水位H= 53.85m

ダムによる水位低減効果 = 2.3m(推定値)

※本資料の数値は速報値であるため、変更となる可能性があります。



【治水事業の効果】石狩放水路による水位低減効果

○令和4年8月15日～19日、前線に伴う降雨により、石狩川の水位が上昇しました。
○石狩川から茨戸川への逆流による浸水被害を防止・軽減するため、運河水門を閉扉し石狩川の影響を遮断するとともに、石狩放水路から茨戸川の洪水を日本海に放流し、茨戸川の水位を低下させました。
○これらの操作によって、**茨戸川の水位を約0.6m低下させ、約320haの浸水被害を防止**したと推測されます。



◆ 令和4年8月洪水の概要

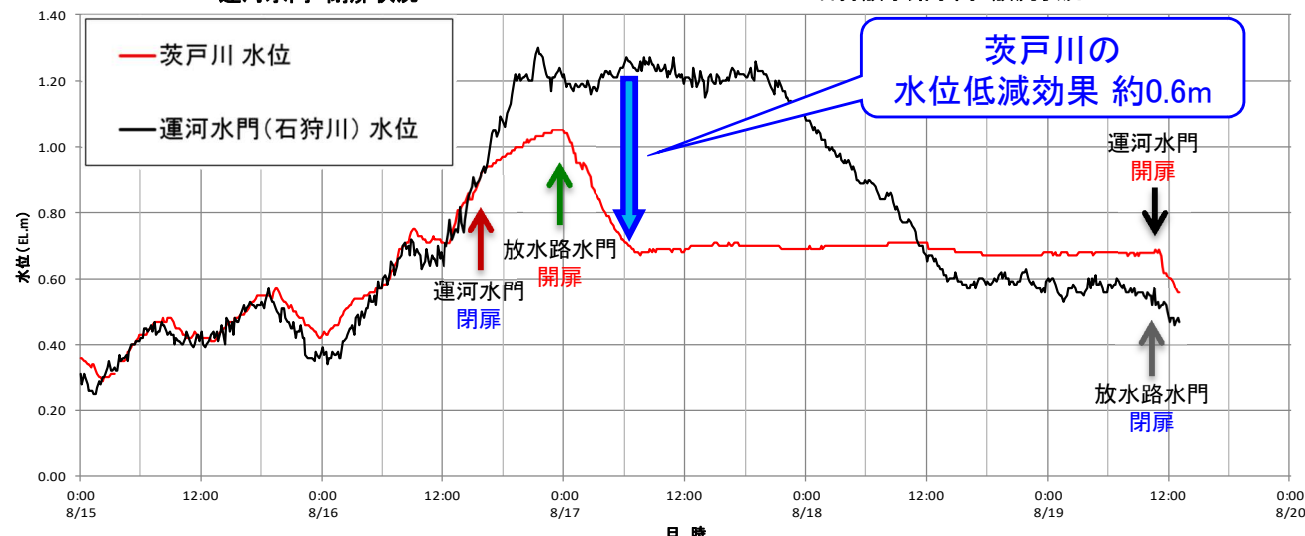
- ・降雨量 札幌105mm (札幌(気象)8月15日20:50～16日21:00)
- ・石狩放水路からの放流量 約 530万 m^3 (8月16日23:01～19日9:45)
- ・茨戸川水位低減効果 約 0.6m (茨戸大橋下流地点)



運河水門 閉扉状況



石狩放水路水門 放流状況



※8月19日13時00分までのデータをもとに作成
※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

※浸水の可能性がある区域は想定です



沙流川水系沙流川の河岸侵食発生と対応状況

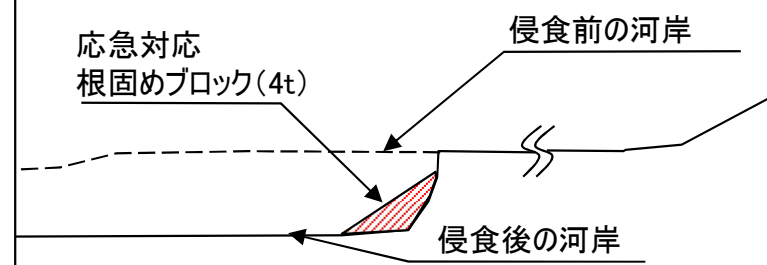
■ 侵食状況(右岸KP15.7付近)



■ 対応概要

- ・8月15日から大雨の影響により、平取町の沙流川水系沙流川右岸KP15.7付近において延長185m程度の河岸侵食が発生。
- ・8月29日迄に次の出水に備え、根固めブロック投入等の応急対応が完了。
- ・今後、本復旧を行う予定。

■ 応急対応の概要(断面)



8.17 9:00時点(河岸侵食発生状況)



8.26 17:00時点(応急対応概成状況)